

# メキシコの第四の改革が前進／ソカロ 集会に 35 万人

タジス・マルカス

オリノコ・トリビュン 2025 年 1 月 15 日

<https://mronline.org/2025/01/16/with-350000-in-attendance-claudia-sheinbaums-zocalo-rally-shows-mexicos-fourth-transfo>

1 月 12 日（日曜日）の朝、メキシコ・シティは生憎の灰色の空と小雨に見舞われ、前夜午前 2 時 30 分に地震警報で起こされた人々は憂鬱な目をしていました。しかし、クラウディア・シャインバウムが初の女性大統領として就任百日目をむかえた祝賀をソカロ（憲法広場）に出かけた 35 万人にとって、何の障害にもならなかった。



この集会は、シェインバウムが歴史的な支持率 80%を記録し、メキシコア湾をアメリカ湾に改名するとしたトランプ大統領にたいして、完璧な皮肉を込めて「アメリカ・メヒカーナ」と改名するよう提案したことで、インターネット上で大きな注目を集めるなど、シェインバウムにとって勢いのある時期に行われた。

35万人の中にはメキシコ全土からの参加者がおり、出身地を誇らしげに表す旗を持って集団で集まっていた。チアパス州、カンペチェ州、タバスコ州など、歴史的に政府に無視されてきた州からの参加者は、シェインバウムと彼女の政党「MOLENA」結束を示した。

シェインバウムは1時間に及ぶ演説で、大統領就任における女性の地位向上の中心的役割を訴え、これまでの政策と成果を概説し、対米関係についても直接言及した。

特定の場面では、観衆の感情をさらに揺さぶった。例えば、**女性に対する年金支給年齢を65歳から60歳に引き下げる**という決定について、シェインバウムが説明した。

なぜ女性だけなのかと聞かれます。しかし、子供たちの面倒を見るのはいったい誰なのか？ 家庭を守るのは誰なのか？ 繰り返すが、このようなことがあってはならない。女性大統領が誕生したことで、初めてメキシコ人女性の働きが認められることになりました。

<https://drive.google.com/file/d/1WGfAiY6tQG8QVU81T-X2LrBwIFCZqFyQ/view>

[Video] 女性の家事労働を認めたシェインバウム

シェインバウムが政府の新しい公衆衛生システムの進歩について話すと、歓声が沸き起こり、目に涙があふれるのがみられた。

2月から、高齢者と障害者は、保健士による月1回または隔月の訪問を受け、病気の治療や予防を行う。

「大統領、大統領」との大合唱が鳴り響く中、シェインバウムは、政府が福祉銀行（Bancos de Bienestar）の支店の隣に**公共薬局を設置し、人々が無料の薬を手に入れられるようにする**と述べた。

今年の半ばから、福祉銀行の隣に薬局を設置します。



メキシコシティ南部にある私の建物の外に置かれた、無料の訪問医療サービスを知らせる張り紙。

スピーチの決定的な瞬間は、シェインバウムが**米国に住むメキシコ人の重要な役割**、メキシコにいる家族への貢献だけでなく、米国経済への貢献も直接取り上げたときだった。

メキシコの人々は正直で、勤勉で、勇敢です。私たちは抵抗しますが、決してあきらめません。米国にいる私たちの姉妹や兄弟の例がある。彼らは今年、およそ6,500万ドルを家族に送金しました。しかし、よく聞いてほしい、大きな声で叫びたい。彼らはアメリカ経済にさらに貢献しているのです。彼らがメキシコに送った額は、消費、貯蓄、税金など米国に残したものの20%に過ぎないのです。

メキシコ人労働者は、米国で他のどの労働者よりも働いています。彼らは素晴らしい農場労働者であり、建設労働者であり、サービス労働者であり、大学では偉大な科学者であり、国の英雄なのです。

[https://drive.google.com/file/d/1K0z\\_zOu2YFV4H-dcDEd7J7iPARQ153q8/view](https://drive.google.com/file/d/1K0z_zOu2YFV4H-dcDEd7J7iPARQ153q8/view)

[Video] キャプション：盛り上がった演説の終わり

## 就任後 100 日間でシェインバウムは何を達成したのか？

上院と下院で MOLENA が絶対多数を占めているため、シェインバウムは迅速に行動することができ、最初の 100 日間で重要な業績を積み上げるとともに、将来に向けて有望な提案を数多くまとめた。

人気のある既存の社会プログラムへの資金を増やすだけでなく、シェインバウムは 2 つの新しい社会プログラムを承認した。

1 つ目は、**すべての公立学校の生徒を対象とした一般奨学金**で、所得水準に関係なく、公立学校に通う子供を持つすべての家庭に財政支援を提供する。

2 つ目は、前述した女性の年金支給年齢の 65 歳から 60 歳への引き下げで、63 歳と 64 歳の女性はすでに年金カードの受け取りが始まっている。

シャインバウムはまた、ロサリオ・カステジャーノス大学を設立する政令に署名した。全国から 33 万人の学生が学費無料の教育を受けられることになる。また、彼女は国立美術・文学学院の学校に 40 年ぶりに政府支援を提供し、国立人類学・歴史学院の学校にも支援を行うとともに、教師の給与引き上げを約束した。

大統領は女性への支援を明確にしており、すでに女性のための憲法改正を批准し、憲法に女性の権利を明記した。これは、シェインバウム政権が発足して以来、政府によって承認されたその他 15 の憲法改正のひとつである。これらの大半は、ロペス・オブラドール (AMLO) 前大統領が提案し、シェインバウム率いる新政権が承認したものだ。

これらの中には、話題となった司法改革、動物の権利の憲法上の承認、最低賃金が常にインフレ率を上回るという公約、採掘の禁止、国家エネルギーサービスの一部国有化、治安対策の改革などがある。

改革された治安対策は即座に影響を与えたようで、昨年9月から12月にかけて、殺人事件は16.3%減った。このうち女性に対する殺人は26.5%減、銃による負傷は19.7%減、暴力的な強盗の4.7%減となっている。

大統領はまた、今年初めに最低賃金を12%引き上げ、合計すると、これは2018年にMOLENAが政権を取ったときと比較して、購買力が135%増加したことに相当する。

大統領は昨年11月に「水と持続可能性に対する人権に関する国家協定」に署名した。この協定は、水にたいする人権を保障し、産業・農業活動における水効率を確保し、水の処理・再利用・浄化における技術革新を促進し、河川やその他の水域の汚染を防止することなどを目的としている。

これは、一人当たりの水抽出量が世界で11番目に高い（2022年）のに、水の供給を企業に委ねた結果、人口の57%が安全な水にアクセスできないという状況に陥っている状況のなかで極めて重要である。



大統領を応援するメキシコのチマルワカンの人々

もう一つの重要な成果は、ウーバーやディディのようなアプリを利用して運転や配達などで働く 65 万 8000 人のメキシコ人に労働権を与える労働改革だ。これにより、アプリケーションを利用する労働者一人ひとりに傷害保険が付与され、また、選択したアプリケーション・サービスで最低月給以上を稼ぐ労働者 27 万 2000 人には、ヘルスケアやその他の労働権が付与される。

シェインバウムは 2025 年を先住民女性の年と定め、その公約を貫徹している。最近、手工芸品を制作する先住民女性とアフリカ系メキシコ人女性を対象とした[経済支援プログラムを発表した](#)。

このプログラムへの投資は、単に彼女たちの工芸を促進し、力を与えるだけでなく、デザインを法的に保護することを目的としている。

シャインバウムはまた、先住民とアフロメキシコの人々のための「司法計画と地域開発に関する大統領委員会」の設立に着手した。この委員会は、先住民に自治権と独自の規制システム、文化、言語、遺産を保存する権利、彼らの生

活や環境に影響を与える可能性のある政府の活動について協議される権利を提供する憲法令の実施を監視する。



メキシコ・シティの有名なソカロは人でいっぱいだった

さらに、先住民族に影響を与えるこれらの憲法改正は、アクセシビリティと理解を促進するために、68の異なる先住民族の言語に翻訳されている。

気候科学のバックグラウンドを持つシャインバウムは、持続可能性と再生可能エネルギーを促進するために大きな期待をもたらしたが、メキシコが独自の低価格電気自動車を開発することを発表し、この期待に応えた。

3台の車両が設計される予定で、配達用の大型トラックなども含まれる。車両のスタート価格は4500ドルから7500ドルと見積もられており、メキシコ人の多くが電気自動車の購入に対して抱いているコストの障壁をなくす。

AMLOによるリチウムの国有化のおかげで、メキシコは自国のリチウムを使って自動車用バッテリーを作ることができる。

さらに、シャインバウムは 2030 年までにメキシコのエネルギー生産の 45% を再生可能エネルギー源にする計画を発表した。



シャインバウムはメキシコの未来のために持続可能性を優先している

国の排出量を削減するもう一つの重要な動きは、AMLO が行った大規模なトレン・マヤ・プロジェクトに続き、国中に鉄道網を建設するというシャインバウムの計画である。メキシコの鉄道網は 1999 年に民営化されたが、その直後、メキシコには旅客鉄道サービスがほとんどなくなった。

国の主要なバス・サービスである ADO は、バス料金を独占し高騰させる略奪的な行動で頻繁に非難されている。シャインバウムは、国の鉄道サービスを復活させ、自動車の排気ガスを削減するために、3000km 以上の鉄道線路の建設を計画している。

以上、メキシコを「第 4 の変革」の方向に進め続けているシャインバウムの功績を、包括的ではあるが、網羅的ではないリストで紹介した。シャインバウ

ムのトランプへの対応は鋭く、賢く考え抜かれたものだが、アメリカメディアの否定的な報道によって、彼女の大統領就任のニュースは影がうすれてしまっている。しかし国民を大切にす方向にとられた措置の数々は忘れられるべきではない。

【翻訳チェック 田中靖宏】